2026年7月30日

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について
（　2026年9月　検針分　）

2026年4月 ～　2026年6月　のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。
なお、2026年9月分（8月使用・9月検針分）のガス料金には、政府支援を踏まえた値引き「電気・ガス料金支援」が反映されています。

●平均原料価格

	単位	2026年3月 ～ 2026年5月	2026年4月 ～ 2026年6月	基準平均原料価格
LNG平均価格（貿易統計値）	円／トン	91,540	93,150	
LPG平均価格（貿易統計値）	円／トン	109,980	121,240	
平均原料価格	円／トン	92,860	94,960	46,100

平均原料価格＝LNG平均価格×0．9541＋LPG平均価格×0．0502　（10円未満端数四捨五入）

原料価格変動額　＝　平均原料価格　－　基準平均原料価格　（平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき）
＝　94,960　－　46,100　＝　48,800　円/トン
（100円未満端数切捨て）

●調整単位料金の算定
平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき
調整単位料金　＝　（基準単位料金 ＋ 0.084×原料価格変動額÷100円×（1＋消費税率））－18.0円※1
（小数点第3位以下の端数切捨て）
※1:政府支援で18.0円/㎥（税込）が値引きされます。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金　（消費税込）

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2026年9月 検針分 調整単位料金 ※3	調整額 (B)－(A)
A料金表（0㎥～24㎥）	円／m^3	222.65	249.74	27.09
B料金表（24㎥を超える）	円／m^3	163.59	190.68	27.09

	単位	(A) 2026年8月 ※2	(B) 2026年9月 ※3	(B)-(A)
A料金表（0㎥～24㎥）	円／m^3	251.80	249.74	▲ 2.06
B料金表（24㎥を超える）	円／m^3	192.74	190.68	▲ 2.06

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)
2026年9月　検針分の単位料金は、 2026年8月　検針分　に比べて、1㎥(45MJ)当り
▲ 2.06 円(消費税込)、標準家庭(26㎥)では月額　▲ 54　円の調整を行うこととなりました。

1ヶ月分使用量（㎥）	(A) 2026年8月 ※2	(B) 2026年9月 ※3	影響額 (B)－(A)
26	7,182	7,128	▲ 54

計算式・・・基本料金（税込）＋調整単位料金（税込）×使用量　（1円未満の端数は切り捨て）
※2:　政府支援を踏まえた14.0円/㎥（税込）の値引きがされています。
※3:　政府支援を踏まえた18.0円/㎥（税込）の値引きがされています。詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金支援」をご覧ください。（https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp）

筑紫ガス株式会社